

interface

MIYUKI HOSPITAL MAGAZINE

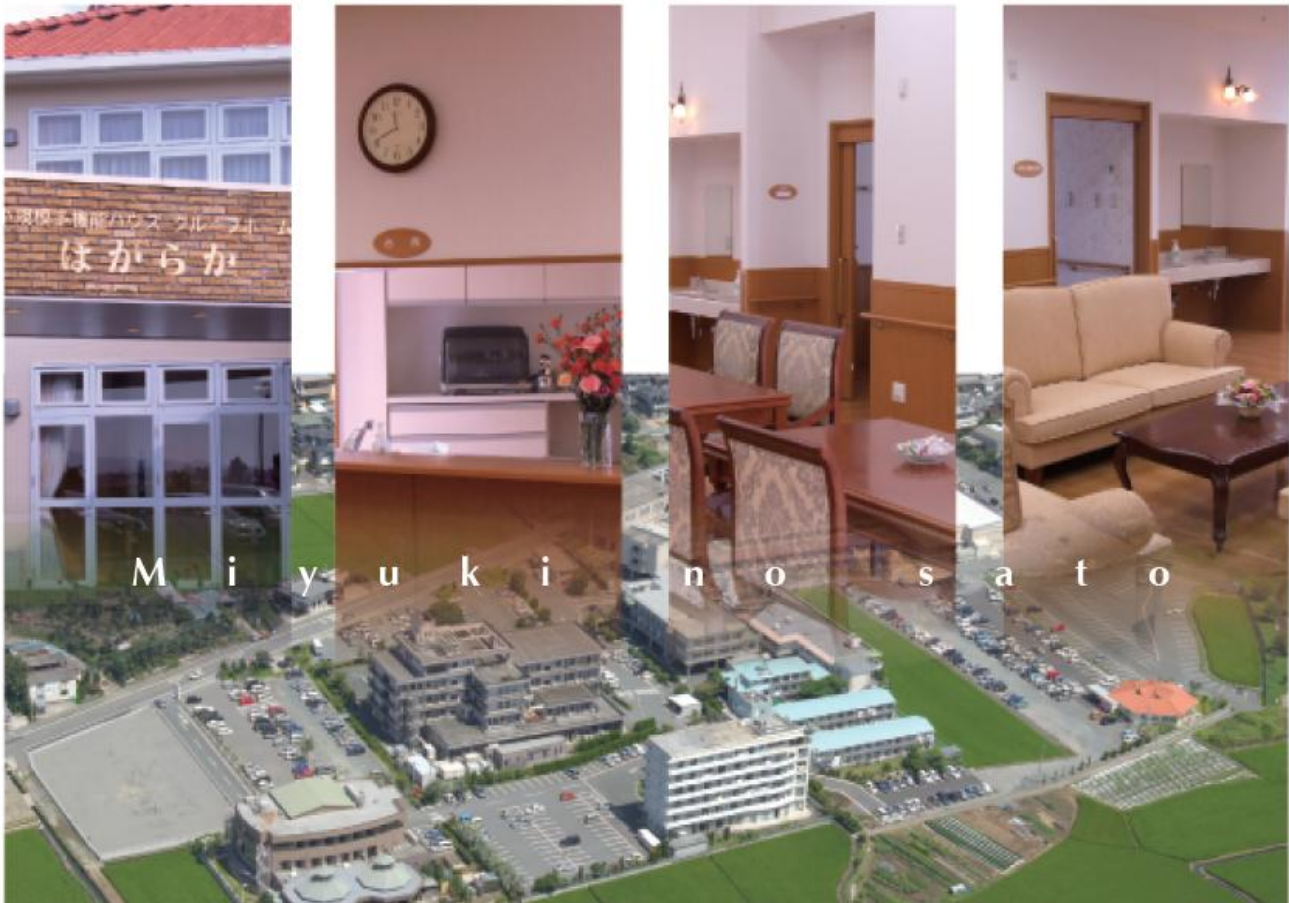
インターフェイスとは「つなぐ部分」のこと。この広報誌を皆様とのつながりのきっかけにしていきたいと考えています

御幸病院広報誌
【インターフェイス】



2010.
Spring

Vol.10



M i y u k i n o s a t o

●特集

「組織の情報管理を総合マネジメント」

「院内の情報管理ソフトも開発」

- グループホームほがらか 落成式
- 統合医療 ●ドクターズ コラム
- 和楽ってこんなところ! ●今後の行事予定
- ニュースリリース ●担当医表

健康・福祉21



みゆきの里グループ

- ◆軽費老人ホーム 富貴苑
- ◆レストラン ピオサルーテ

- ◆ケアハウス ピオニーガーデン
- ◆特別養護老人ホーム みゆき園

- ◆ウェルネススクエア 和楽
- ◆小規模多機能ハウス ほがらか

- ◆介護老人保健施設 ぼたん園
- ◆グループホーム ほがらか

ごあいさつ



医療法人 博光会 理事長
富島 三貴
Miki Tomishima

御幸病院広報誌「インターフェイス」第10号をお届けいたします。

今回の特集は「情報管理室」です。御幸病院のみならず、みゆきの里全体のITや広報等に関わる業務を行っている部署です。特に病院においては、入院・退院・転棟などの情報を管理するデータベースや、患者様のリハビリの計画を立てるためのソフトなどを作成しております。

御幸病院は昨年7月に回復期リハビリテーション病棟を増設しましたが、紹介元となる急性期病院、退院先となる医療機関や各種施設との連携の重要性が、ますます強くなっております。このような紹介元・退院先の医療機関・施設の方々に、連携パスやデータベースといった形で、患者様についての情報提供をする際に、情報管理室が作成しているソフトや日々入力し蓄えているデータが大きな力を発揮しています。

御幸病院情報管理室の、この分野における取り組みを、一部ご紹介させていただきます。

「組織の情報管理を総合マネジメント」 「院内の情報管理ソフトも開発」



情報管理室スタッフ

「企画立案から機器運用までカバー」 「他医療機関への情報提供も」

情報管理室は、「企画」と「IT」を主な業務として担当しております。御幸病院を含めた、みゆきの里全体に関する行事やイベントの企画・立案に参加し、それらについての広報活動を行います。またパソコンやプリンタ等、IT機器の選定・導入・メンテナンスにつきましても、みゆきの里の全施設をカバーしております。中でもソフトウェアに関しては、全施設の稼働状況が見える「みゆきの里サマリー」、患者様の入退院を把握するための「入退院・転棟情報」、各種のリハビリ関係ソフト、回診用のソフト、病棟スタッフの勤務管理ソフトなど、幅広いソフト開発を手掛けています。

情報管理室には現在、「診療情報管理士」の資格を有

する職員が3名おり、患者様の病名に対して国際疾病分類ICD-10を用いた、正確なコーディングを行っております。これにより、「どのような疾患の患者様が御幸病院に入院されているか」を表す病院疾病統計をはじめ、各種診療データの統計を作成し、病院の経営陣や他の医療機関、その他の方々にご提供することが可能となっています。

「ソフトの直接開発でニーズに対応」 「現場の声を拾って完成度UP」

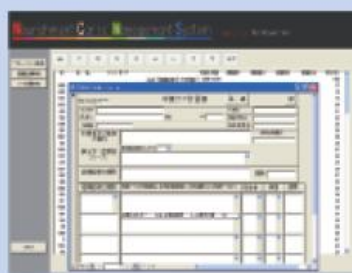
当然ながら、医療事務で扱うレセプト・コンピューターなど大がかりなシステムにつきましては、外部に発注いたします。しかし、現場からの早急な要望に応える必要がある場合や、情報管理室で対応可能な部分に関しては、直接ソフトを開発しております。先程紹介いたしました各種ソフトウェアもそのようにして開発され、現場で活用される中で、様々なバグや改善要望が情報管理室にフィードバックされて来ました。これらに対応し、改善を行っていくことで、ソフトの使い勝手や完成度が高められるのも、情報管理室で開発を行っている利点の一つです。

さらには、みゆきの里の各施設の担当者に対して、「このようなシステムを導入することで、こういった効果が期待できます」といった提言を行ったり、現場スタッフの要望に合うソフトを探し出すなど、ITに関するアドバイスを提案も重要な役割です。

M i y u k i n o s a t o



各施設の稼働状況が把握できる
「みゆきの里サマリー」



栄養ケアマネジメント



リハビリを受ける患者様のデータベース

「組織の情報共有化、連携をサポート」 「外部勉強会の活用で情報収集」

また、御幸病院の情報管理室は、県下50近い医療機関の事務長・情報システム担当者が参加する「医療情報システム研究会」に参加しております。この研究会は年6回の開催で、外部から講師を招くなどして、「電子カルテ・オーダリング」や「セキュリティ」といった内容について学習やディスカッションが行われています。他の医療機関のシステム担当者との意見を交換することで、医療・福祉の情勢からIT業界のスタンダードまで、様々な情報を得ることが出来るのもメリットです。

情報管理室は、病院の収入に関するデータも扱います。毎月1回開催される医局会において、理事長・院長・各Dr.・看護部長・事務局長等の病院幹部に対し、月ごとの診療報酬とその内訳、月単位での金額の推移といった資料を作成し、提供しております。今後は資料提供のみならず、データを元に病院運営に役立つ分析を行っていくことを考えています。

個人情報についての管理も担当しています。カルテ・レントゲン等診療記録の開示要求があった場合、まず情報管理室が窓口となり、情報管理委員会・担当医・看護部長・院長・理事長の裁可を受けて後、実際の開示作業にも従事します。さらに、毎年行われる新入職員に対する研修においても、個人情報保護に関する講義を実施しています。みゆきの里すべての施設の職員に、個人情報保護に関する正しい知識と意識を持ってもらうのも、情報管理室の重要な仕事です。

このように、情報管理室は非常に幅広い分野において業務を遂行していますが、さらにその業務の質を高めるため、3月より新しいスタッフを1名増員いたしました。これを機に、御幸病院及びみゆきの里の更なる情報共有・連携強化を実現すべく、様々な提案や役立つツールの提供を行ってまいります。

情報管理室からの ご挨拶

御幸病院情報管理室 室長
庄箆 博志



御幸病院に情報管理室ができてから、今年で丸7年になります。当初は企画室という名前でしたが、平成15年に職員1名を加えて3名となったのを機に、発展解消して情報管理室となりました。本年3月にさらに1名を加え、現在では4名体制となっております。

情報管理室では名前の通り、診療情報管理を業務として行っておりますが、他にもIT・広報・個人情報保護など、多岐にわたって業務を行っています。また、企画室の業務であった企画・立案についても、情報管理室からの参画は継続されています。

業務の範囲が広いため、スタッフの間での役割分担が重要になってまいります。例を挙げますと、あるスタッフが担当している業務は診療情報管理が7割、ITが3割といった内訳になっています。別のスタッフは診療情報管理業務が3割で、広報も含めたIT業務が7割です。また別のスタッフは診療情報管理業務が1割で、IT業務が9割を占めるといった具合です。

これはあくまでも原則で、情報管理室には様々な施設の様々な部署から、業務の依頼が舞い込んで来ます。その時々で、現在従事している業務やその日のスケジュールも勘案して、最も適したスタッフが、その依頼を引き受けるようにしています。ルーチ的な業務のみならず、こうしたスポッ的な業務が多いのも情報管理室の特徴です。

今後も我々スタッフ一同、他の部署のスタッフの業務を円滑にし、他の医療機関の皆様との連携が上手く行くよう、縁の下の力持ちとなるべく、精進してまいります。御幸病院情報管理室を、どうかよろしくお願いいたします。

統合医療 —みゆきの里の取り組み—



御幸病院顧問
老人保健施設ぼたん園施設長
江頭 洋祐

「地中海型和食のすすめ」

地中海沿岸の南フランス、イタリア、スペインなどには長寿者が多いことから、最近は地中海型食事に関する研究が盛んに行われています。その中で、長寿ではさらに世界トップクラスの日本の和食といくつかの共通点があることがわかってきました。地中海型と和食の重要な共通点は魚を食べるのが多いことです。また、野菜や穀類の割合が高くなっています。前者ではトマトを食べる特徴があります。ただ、地中海型は一般に高脂質です。しかし、その大部分はオリーブ油です。オリーブ油は抗酸化成分(ポリフェノール)やビタミンEが含まれているため赤ワインと共に抗酸化作用が期待できます。

和食は一般に魚、野菜、きのこ、豆腐、海藻など低カロリー食材が多く、長寿の点では優れています。しかし、今後、体力、体格の点でオリンピックやスポーツの国際試合で見劣りしない、強靱なフィジカルを作るためには地中海型の良いところを積極的に取り入れていくメニューを考えて行くべきとも思います。魚や肉には蛋白質と脂肪が含まれますが、特に脂肪についてはDHAやEPAなどのn-3系不飽和脂肪酸を多く含むものが動脈硬化や脳の老化に有用であることがわかっています。「今日、食べたものが明日のあなたを作る」という格言があります。あっさりした和食を好みがちな私たちも、これからは適切な脂肪や蛋白質を上手に取り入れた、地中海型和食で健康長寿の体力づくりを心がけたいものです。

グループホームほがらか 落成式



3月11日、地域密着型施設・小規模多機能ハウスほがらかに、新しくグループホーム棟が完成し、落成式が行われました。グループホームほがらかは、熊本市により策定された「くまもと はつらつ」プランに基づき、認知症高齢者の自立支援と認知症進行防止を行うための施設です。

「くまもと はつらつ」プランでは、高齢者の方々が住み慣れた地域で、生き生きとその人らしく暮らせる社会を謳っています。そのためには、地域の住民・地域の団体・包括支援センター・行政等がネットワークを作り、高齢者お一人お一人に適切なサービスを、継続して行う必要があります。これが、「地域密着型サービス」です。

地域密着型サービスにはいくつかの種類がありますが、このうちグループホームほがらかが担当するのは、「認知症対応型共同生活介護」と呼ばれるものです。これは認知症高齢者が家庭的な環境の中で、5～9名程度の少人数単位で共同生活を行うもので、食事・入浴・排泄の介助を受けながら、日常生活を援助することでその自立を支援し、認知症の進行



を防止していくサービスです。利用者の生活しやすい環境整備と、少人数で「なじみ」の関係を作り上げることで、高齢者の方々の生活上のつまづきや行動障害を軽減し、心身の状態を穏やかに保つことができます。

当日は、地域等からお集まりいただいた大変多くのご出席の皆様を前にして、みゆきの里・富島会長のご挨拶にて開会いたしました。続いて、ご来賓の皆様を代表して、中原県議会議員玲夫人、緒方社会福祉協議会長（御幸校区）、田中自治会連合会長（御幸校区）から、ご挨拶と祝辞を賜りました。そして、ほがらかの吉原代表より施設概要の説明、そしてほがらか管理者である亀井より、職員の紹介が行われ、落成式は閉会となりました。

ご参加いただいた皆様は、落成式終了後もほがらかの各居室の中をご覧になったり、職員に対して施設のついで質問をなさるなど、グループホームほがらかに大変ご興味を示されている様子でした。

グループホームほがらか完成により、御幸病院をはじめとするみゆきの里の諸施設の連携の幅がますます広がりました。これを機に、地域の皆様やご利用者の方々に、より細やかでその方に合ったサービスを提供させていただけるよう、みゆきの里職員一同はより一層精進してまいります。今後とも、グループホームほがらかとみゆきの里の各施設を、どうかよろしくお願いいたします。

Doctor's COLUMN ドクターズ コラム

皮膚科医は見る・診るが診断の基本です



大山皮膚科医院
院長

大山 勝郎 先生

大山皮膚科医院
〒861-4101
熊本市近見1丁目
4-15
TEL:096-326-3355

御幸病院が開業されたのが昭和57年、その1年後の58年近見町に皮膚科を開業しました。東バイパスが国道3号線にT字状に開通し、流通団地は造成されていましたが、建物は無く舗装道路だけが、滑走路代わりに趣味のラジコン飛行機を子供と楽しんでいた頃を懐かしく思い出します。

当時、熊本市南地区に皮膚科専門医がいなかったため、開業当初より御幸病院からも患者さんをご紹介頂き、前理事長をはじめ先生方には大変お世話になりました。

皮膚疾患は発症時から目で見えるため各科の医師が診断・治療することが多いです。大学病院勤務医時代から、重症になってから紹介され、専門医としても難渋し、患者さんにも申し訳ないと思ったものです。素人も目で見えるので昔より俗名で呼んでいました。とびひ（伝染性膿痂疹）、熱の華（単純ヘルペス）、ヘビタン（帯状疱疹）、水虫（足白癬）など。皮膚科専門医は視診し、これまでの多くの患者さんを診察した経験から色々な病名を考えます。この思考はレントゲンやCTなどの画像診断と同じなのです。皮膚科専門医の視診は最新・高度医療器具に匹敵する医学的手段と自負しています。御幸病院からは早期から相談され、患者さんも安心して、本病の治療に専念できたのではないかと思います。

日本は超高齢化が進み、医学も医療も大きく変遷し、介護制度も導入され、政府は保険財政面から、政策を次々に変えてきました。これからは医療と介護の両方を必要とする患者さんが増えてくるのは確実です。

変遷する医療・介護制度の中で御幸病院は時代に即応して、「みゆきの里」のグループを造り、保健・医療・福祉の統合医療を目指され、地域の方々に貢献されています。さらに健康増進・トレーニングの施設もあり、地域の人も気軽に疾病から健康について相談出来る施設となっています。その中で「皮膚がかゆい」「目が見えない」「耳鳴りがする」となればそれぞれの近くの専門の診療所が受け皿になればと思います。

先日、熊本県医師会のある会合で球磨郡の先生と隣席になりました。休憩時間に「御幸病院から患者さんが紹介されて来られました。どこにあり、どんな病院ですか？」私の知る範囲内で場所など説明し、充分納得されていました。

和楽の天然温泉に入り、外を眺めると東から依山、飯田山、雁回山と西は金峰山、雲仙岳と飽きることない熊本の原風景です。いつまでも残って欲しいと・・

特集 和楽 WAKAKU Vol.10 こんなところ!

ウェルネス
スクエア



春らんまん 東雲座 in 和楽

来る4月23日、ウェルネススクエア和楽内の田園キッチンにて、「2010' ありがとうキャンペーン」の第一弾といたしまして、「春らんまん 東雲座 in 和楽」を開催いたします。

東雲座は民謡竹峰流宗家二代目の福島竹峰さんと、新第21絃奏者の藤川いずみさんによるコンビユニットで、民謡・端唄・小唄・新内小唄・都々逸・長唄・大和楽・地唄・箏曲など、邦楽をボーダレスにカバーしておられるのが特徴です。熊本の芸者のお座敷芸をプロデュースされる一方で、男女共同参画の新しいお座敷遊びの開発を手掛けられています。平成11年の結成以来、熊本を中心とした国内ライブや、オーストラリア講演など、幅広い活動を行っておられます。

今回のライブは田園キッチン内でお食事も楽しみながら、ごゆっくり聞いていただけるものとなっております。ご興味の有られる方は、是非お問い合わせの上、ウェルネススクエア和楽へお越しください。



- 日時: 4月23日(金曜日)
- 開場: 午後6時 開始: 午後6時30分
- 料金: お一人様2,000円(特別懐石弁当付き)

お問い合わせ・申込: 7861-4103 熊本市御幸笛田町西宮前1202
ウェルネススクエア和楽 受付まで
F096(370)2244 FAX: 096(370)6166

田園キッチン料理講座開催



3月13日(土)午前10時、ウェルネススクエア和楽にて、田園キッチンの東島料理長による料理講座が開催されました。

今回の講座では「春の訪れに合わせた食生活」について説明するとともに、一年の総集編として、田園キッチンのコンセプト「身土不二」「医食同源」「地産地消」「丸ごと全部食べる」を基にした料理講座の要点を説明しました。

また調理実演では「野菜のフリッター」を取り上げました。天ぷらと似た揚げ物料理ですが、油の吸収が少なくヘルシーで主食としても十分に使える料理に、参加された皆さんも満足された様子でした。

講義終了後は調理実演で作った野菜のフリッターの試食や、田園キッチンのランチバイキングを楽しまれていたようです。



くまもとを日本初のフェアトレードシティへ ~みゆきの里の取組み~

去る3月4日(木)熊本市国際交流会館にて「フェアトレード・シティくまもと」実現へ向けてのトークイベントが開催されました。みゆきの里はフェアトレード推進委員会の活動に参画し、富島理事長、東島料理長、島本シェフの3人が発起人として参加しております。今回のイベントには、株式会社笑健のスタッフが参加いたしました。

トークイベント第一部では、まずNGOフェアトレードくまもと代表の明石祥子さんからフェアトレードシティ熊本へ向けた取り組みと課題についてお話があり、その後ゲストの方からのお話がありました。ブルース・クローザーさんからは世界のフェアトレードシティ誕生秘話を、渡辺龍也教授からは統計データを用いて日本のフェアトレードの現状とメリットについて、松本義弘さんからは横須賀市の活動と熊本市への提案についてお話しして頂きました。

第二部では、ゲストのお三方を交えてのキックオフイベント・懇親会が行われました。参加者一同、熊本を日本初のフェアトレードシティにする決意を新たに、トークイベントは閉会となりました。和楽内レストラン「田園キッチン」、イタリアンレストラン「BIO SALUTE」をはじめとして、みゆきの里はフェアトレードの理念に賛同し、フェアトレード・シティ推進委員会に参加しております。

今後の行事予定 Event schedule

4月1日 みゆきの里入社式
6月 健康と食のまつり



「健康と食のまつり・健康ウォーキング大会」

担当医表 Charge medicine table

	月	火	水	木	金	土
午前	津出 長尾	吉田 江頭	金沢	川野 長尾	吉田	担当医
午後	本田	本田 長尾 和田山	高野	高野 長尾	津出 江頭	

・王研究員の漢方相談…毎週月・水・金の午前・午後
毎週木の午後 第2・第4火・土の午前

長尾名誉院長	外科(鍼灸漢方)・健康相談を担当します。
吉田院長 津出診療部長 川野内科医長 本田医師 高野医師 金沢医師	内科を中心として、種々の診療を担当します。
和田山医師	整形外科を担当します。
職員ホスピス医長 鈴木医師	緩和ケア病棟を担当します。
江頭医師	呼吸器・アレルギー疾患・心療内科を担当します。
田川医師	歯科を担当します。
●リハビリテーションの担当医:川野、吉田、津出、金沢	
●緩和ケア病棟への入院相談 月～土 8:30～17:30(随時)	
相談窓口:医療連携室	

ニュースリリース News release

みゆきの里創立記念式典 開催



去る3月1日、みゆきの里の28周年創立記念式典が、ぼたん園多目的ホールにて開催されました。当日は始業前の朝早くから、富島会長をはじめ職員一同がぼたん園に集合。富島会長の開会の挨拶の後、お忙しい中ご出席いただいた中原県会議員より祝辞をいただきました。

その後、永年勤続者と先日の研究発表大会優秀作の表彰がおこなわれました。今回の永年勤続者は、10年・15年・20年・25年の各表彰をあわせて22名。研究発表では、病院薬局・佐藤薬剤師の「ヒドロキノン軟膏の有効性・安全性についての検証」が最優秀作に選ばれました。

続いて富島理事長より、みゆきの里の今後方針と課題について説明があり、各施設長からはそれぞれの施設の平成22年度の抱負が語られました。最後に御幸病院の吉田院長の首頭で、職員全員がお茶で乾杯し、記念式典は閉会となりました。

ファミリー銀行の皆さんに、 清掃ボランティアに来ていただきました



3月6日(土)、熊本ファミリー銀行の行員の方々約300名がみゆきの里を訪れられ、清掃ボランティアの活動をされました。

当日は朝早くから小雨の降る中、お集まりいただいたファミリー銀行の皆さんを前に、みゆきの里を代表してみゆき園の吉原園長がご挨拶を申し上げます。その後、揃いののぼりやはっぴを着られた行員の皆様は、みゆきの里の各施設とその周辺を、約45分に渡って清掃されました。

私たちは、地域の人々、利用者のご家族の幸せを願い、保健・医療・福祉の総合力を発揮して、健康生活のベストパートナーとなることを目指します。



医療法人博光会

御幸病院

【診療科目】

内科・消化器内科・呼吸器内科・循環器内科・心療内科・神経内科・漢方内科・アレルギー疾患内科・小児科・リハビリテーション科・歯科・麻酔科(ペインクリニック)【医師:岡崎止雄】

【診療受付時間】

平日 午前8時30分～午後5時
土曜 午前8時30分～午前12時

※但し急患は何時でも受け付けます。



- 緩和ケア病棟:20床
- 一般病棟:30床
- 回復期リハビリテーション病棟:85床
- 医療療養型病床:51床
- 併設:訪問看護ステーション「みゆきの里」

発行/医療法人博光会 御幸病院
〒861-4172 熊本市御幸笛田6-7-40
TEL.096-378-1166 FAX.096-378-1762
メールアドレスinfo@miyukinosato.or.jp
編集/株式会社 談

詳しくはホームページをご覧ください

<http://www.miyukinosato.or.jp/>